NEWS

おもいやり運転で事故ゼロへ
桑折・国見・白石が合同街頭啓発

「秋の全国交通安全運動」に合わせ、桑折町・国見町・白石市の交通安全関係団体による合同街頭啓発活動「ふくしま・みやぎ県境キャンペーン」が9月30日、白石市おもしろいし市場で実施されました。この取り組みは、平成13年に国見町の国道4号で発生し、専門学校生3人が犠牲となった交通死亡事故を教訓として始まり、継続的に交通安全の啓発を行っています。

当日は、人垣作戦により「守ろう！　交通ルール」と掲げたのぼりや、「後部座席もシートベルト」と書かれたハンドボードを掲出。ドライバーに対し、桃グミや白石温麺など各市町の特産品を配布しながら、安全運転の徹底を呼びかけました。





1_活動前に挨拶を行う白石警察署長と真剣に耳を傾ける各団体の皆さん　2_ホタピーも啓発活動に協力

食べて実感　安全・安心の給食
学校給食町民試食会

町民の皆さんに、子どもたちがどのような給食を食べているのかを伝え、給食に対する理解を深めてもらうことを目的に、学校給食町民試食会が9月10日、町学校給食センターで行われました。当日は、安全・安心な食材の管理や調理方法などの説明を受けた後、当日、幼稚園・各小中学校に提供された給食と同じ献立を試食しました。参加者からは「こんなに細やかに給食を作っているとは思わなかった」などの声が寄せられました。



給食の製造過程を聞きながら試食する参加者

認知症を考えるオレンジ展・ライトアップ

9月の「世界アルツハイマー月間」にあわせ、認知症を考える展示イベント「オレンジ展inこおり」が9月25日から8日間、町民ロビーで開かれました。町内の介護事業所の利用者作品や活動風景の展示、認知症に関する映像の上映、みなさんの認知症への想いを実らせた木などを展示しました。18日からは、旧伊達郡役所を認知症支援のテーマカラーであるオレンジにライトアップ。認知症への理解を多くの人に呼びかけました。



認知症と関わる人の思いに触れる来場者